

# 憲法9条桂川の会 ニュース

No.27  
2017年  
12月10発行  
憲法9条  
桂川の会

全国各地で国会の動きを見て「今度はまったなしだ」と、集会や署名がスタートしました。私たちも、12月19日にスーパーマツモト前で11時から宣伝行動します。多くの参加をお願いします。

## 憲法は世界の宝

松田 基宏（代表世話人 三ノ宮町）

憲法よりお諸が欲しいという声の

戦後の新聞の切抜きを読む



敗戦からしばらくの間は極めてひどい食糧難の時代でした着物などを持って物々交換に出かけた母の帰りを待ち切れず、夕食も当てにできなないので、国民学校三年生であった私は弟二人に「もう寝よう」といって空腹を忘れるために横になった夕暮を思い出します。このような生活状況になると、食へること以外はどうでもよいという心境になります。戦後の新聞で「憲法よりお諸が欲しい」とあるのを読んだ時、七十年の昔へ思いは走り強い共感を覚えて、冒頭の歌が出きました。新聞記者に「憲法より」と言っただけ人は憲法を疎かに思っていたのではないと確信します。憲法は大切だけれど、と言っているのです。憲法公布日の頃、思えば「お諸」は代用食の内でも一番おいしい主食でした。五年生になった時『新しい憲法の話』という本を読んだら、敗戦を機に訳のわからぬことで先生から叱られることがなくなって自由を得たあの気分から、もう一步を踏み込んだ自在をはっきりと感じた思いでした。あれから七十年が経ちました。岩波書店発行の『私の戦後七十年談話』の中で、児童文学作家の中川季枝子氏が次のように書いておられます。

中学の社会科で傷痍軍人の先生が憲法の前文を涙で声を詰まらせながら読み上げて「暗記しろ」と命じたのを私は決して忘れない。

これが日本国憲法ができた時の真のころでしょう。現在、戦前に極めて似た暗雲が漂っています。憲法は日本に限らず世界の宝だと思って固守してゆかねばならないと切に思っています。

## 十一月三日 円山音楽堂での

憲法集会に参加してきました

安倍首相が狙う改憲「九条一項、二項残しつつ三項に自衛隊を明文で書き込む」で何がどう変わるのか？  
憲法学者で京都九条の会代表世話人の山内敏弘さんが講演

「九条が自衛隊員の命を守ってきた。九条に三項を設け自衛隊を明記することは九条を骨抜きにし、海外でアメリカと一緒に戦争する国にしてしまう。自衛隊が『公共』のものになれば、徴兵制は可能になり、自衛隊基地のために強制的な土地のとりあげも可能に、沖縄の辺野古のような事態は全国どこでも起こりうる。防衛費は五兆一千億円になったが、さらに軍事産業が大手を振り、社会福祉は大きく後退させられる」と、そして「九条が果たしてきた役割を評価し、多数になっている改憲反対の世論をさらに大きく、安倍首相に改憲案を発議させない運動を強めましょう」と訴えました。集会参加者二千四百名は大きな拍手で、これに答え、「安倍九条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」を三千万、京都では六十万集め、必ず改憲発議を止めようと誓い合い、元気に市役所前までパレードしました。

森下町 市川

【だれの子供も殺させない】平和の未来のために私のできることをこつこつやれたらと思っています。これからもよろしくお願いします。

大野町 原口